

雪にまつわるよもやま話です…雪は「空からの手紙」とも言われ、上空の温度、湿度、風、その他のいろいろな気象情報が「雪の結晶」の形に現わされています。空気中の水蒸気が冷やされて氷となるときに、水の粒が結合して雪の結晶をかたちづくるわけですが、例えば比較的湿度が高い-15~20℃くらいの気象条件では「樹枝状の結晶」になり、温度の高い0℃~-5℃くらいでは「針状の結晶」が得意やすいようです。自然の気象条件は刻々と、限りなく変化するので、まったく同じかたちの雪の結晶はないともいわれています。

雪の結晶はすべて六角形で、これは水の分子が氷となって結合する際に、六角形に並んでいく性質があるからとのこと。そして実験設備の中で、同一条件で雪を作れば、よく似た結晶の雪ができるそうで、科学的にもある程度、雪のことが解明されてきたようです。

雪の結晶を初めて見たときの感動は今も覚えています。すぐそこまで春が来ていますが、もうしばらくは「空からの手紙」に思いを馳せつつ、目の前に積もる雪をかこうと思います。



えんてく班
なかまの皆さま 今週も元気にすごされて
いました!! 雪がふること多くと足元が
悪いなか はこひやをがんばっています。
えんてくグループのなかまたちは、その他に
ほかし作業も鋭意とっくまれています。
春にこぼれてたくらん売れることを願って。

かおいや
大雪の日(3/4)もめげずに元気に
お仕事頑張りがんばってました。
「朝、シフォンケーキ食べたんか!」と
笑顔で話してくれるなかま。
雪もとけるほこりでした♡

いぶきグループ
今年の冬は、雪と寒さで
毎日大変ですが、
えんてくは、温室の
暖房をつけます。
ごも暖かくなります!!

つくりや
今週は、封入作業やグッズ作りなど
の室内作業をがんばりました。
また先ですが、次の物販販売に向けて
フェルト玉を丸めたり、雑巾をぬぐったり、
なかまの皆さん、静かに集中して
取り組んでいました。